

令和5年度 吾妻小学校経営方針

1 学校教育目標

- よく考える子
- 明るくがんばる子
- 仲よく助け合う子

2 目指す児童像

- 自ら学び 考えを伝え合える子
- 身体をきたえ やりぬく子
- 相手のことを考え 行動できる子

3 目指す学校像

- 学び合い高め合う学校………「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体とした「主体的・対話的で深い学び」の授業探求
- 安全で活力のある学校………「自助」「共助」の精神
- 地域と共に歩み続ける学校…地域の財産「自然・文化・人材」の活用
- 「通ってよかった学校」「通わせてよかった学校」「勤務してよかった学校」

4 目指す教職員像

- 切磋琢磨し、謙虚に学び続ける教職員
- 子どもに寄り添い、活力と熱意のある教職員
- 保護者や地域とともに、協力し合える教職員

5 目指す学級像

- 様々な特性をもった子どもが周囲から浮いていない学級
- 民主的で協力して活動できる学級
- 「主体的・対話的で深い学びの授業」を実現できる学級

6 学校経営方針

(1) 「通ってよかった学校」「通わせてよかった学校」「勤務してよかった学校」を目指し、以下のことに取り組む。

ア 「地域と共に歩み続ける学校」を目指し、地域の財産「自然・文化・人材」を活用した体験活動の継続実施

※令和6年度からのCS（コミュニティー・スクール）とESD（持続可能開発のための教育）に向けた取組

イ すべての児童にとって分かりやすく学びやすい「教育のユニバーサルデザイン化」の継続・充実

※個別指導計画やQ-U検査の活用

ウ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ※「焦点化」「共有化」の研究

エ ICTを活用した授業の実践

※教具としてのタブレット端末の有効活用の探求と児童の学年別スキルの習得

オ 不登校やいじめ防止対策、通常学級における特別支援教育等への組織的対応

（チームとしての対応、外部機関の活用、巡回相談の活用、居がいのある職員室）

カ 教職員の負担軽減に向けた取り組み

(2) 学校経営の合言葉

『N・K・G』	^N ^K ^G 日本一 きれいな 学校にしよう！ ねらい 「環境が人を育てる」のもと、環境整備・美化活動の実践を通して心豊かな児童を育てる。 2018年度：校内環境整備・美化活動 ⇒ 2021年度より：地域の体験活動に拡大 ※「愛校心」から「郷土愛」への進化 具体策 創立150周年を意識した取り組み（愛郷奉仕活動 ふるさとあづまめぐり 等）
『AZMAX』	ねらい どんなことでも、あきらめずに最後まで全力でやり抜く児童を育てる。 具体策 各行事で全員が声を合わせて、合言葉に「アズマックス！」
『A・S・N』	^A ^S ^N 愛される 先輩に なろう！ ねらい 先輩としての自覚と責任をもち行動できる児童を育てる。 具体策 学校行事や縦割り班での活動におけるリーダーシップ

『AZMAX』に込められた思い

※「A」はアルファベットの最初、「Z」はアルファベットの最後、「MAX」は「全力」を意味する言葉であることから、『AZMAX』には、「どんなことでも、あきらめずに最後まで全力でやり抜く。そんな人間に成長してほしい！」という願いが込められている。



(3) 今年度の努力点

- ア 創立150周年記念を意識した取組
- イ 生活の「さしすせそ」確立 ※教育のユニバーサルデザイン化による支援
- ウ 環境も心も『N・K・G（日本一きれいな学校にしよう！）』プロジェクトの推進
- エ 学校図書館教育・プログラミング学習の推進
- オ 地域の財産「自然・文化・人材」を活用した郷土愛の育成
- カ 話し合い活動を通じた自治能力の育成
 ※人権教育と「いじめゼロ運動」にも関連させて
- キ 気力・体力の向上 ※「日々努力をする精神力」と「投力・跳躍力・持久力」の向上
- ク 学校公開、各種たより、学校ホームページ等による地域への情報発信
- ケ 複式学級に関わる研修

(4) 特色ある教育活動 ※小規模校の利点を生かして

学カアッププラン

- ア 継続的な家庭学習支援と個別指導の充実 ※「けてぶれ」学習の取組
- イ 授業のユニバーサルデザイン化（視覚化・焦点化・共有化の推進）
- ウ 「主体的な授業」「対話的な授業」「深い学びのある授業」の実践
 (ア) めあて・まとめ・振り返りの実施・表示 ※小単元名も含む
 (イ) ペア学習＋グループ学習の日常化

- (ウ)「朝の学習活動」の充実 ※火曜(国語)・木曜(算数)
- (エ)「焦点化」「共有化」の研究
- エ ICT や学校図書館を活用した授業の推進
 - (ア) ICT を活用した授業の推進
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
 - ・学年別スキルの習得
 - ・教員 ICT 活用指導力の均衡化
 - ・プログラミング学習の推進 ※論理的思考能力の育成
 - (イ) 学校図書館を活用した授業の推進
 - ・「朝の読書活動」の推進 ※月曜・金曜
 - ・読書意欲の向上に向けた取組
- オ 地域の財産「自然・文化・人材」の活用
 - (ア) 米づくり、果物づくり、ふるさと学習等 ※「ふるさとあづまめぐり」
 - (イ) 将来の夢や希望を思い描ける指導の工夫 ※6年間のキャリア教育との関連

健康いきいきプラン

- ア 気力・体力の向上
 - (ア) あづまサーキットトレーニングの継続実施
 - (イ) 自己目標を立て、ランランタイム、投力向上月間、なわとび強化月間の実施と各種カードの活用
- イ 生活の「さしすせそ」の確立
 - (ア) 生活の「㊟わやかなあいさつと返事 ㊟すかな廊下 ㊟ばやい集合 ㊟せと黙って清掃 ㊟ろった下駄箱」
 - (イ) 『立腰』の推進
 - (ウ) 早寝・早起き・朝ご飯、歯みがきの推奨
 - (エ) 学校保健委員会の実施
- ウ 安全教育の充実
 - (ア)「自分の命は自分で守る」安全教育の計画的実践(交通事故防止、避難訓練 等)
 - (イ) 危機意識を持った施設・設備の安全点検と保全

笑顔ハートフルプラン

- ア 学級経営の充実 ※教育のユニバーサルデザイン化を意識した取組と複式学級に関わる研修
- イ 『N・K・G』プロジェクトの推進
 - (ア) 環境の『N・K・G』の実現
 - a 教室のユニバーサルデザイン化(教室環境における「場の構造化」「刺激量の調整」「ルールの明確化」「時間の構造化」)の推進
 - b 教室以外(廊下・特別教室・体育館・校庭)の『N・K・G』活動
 - (イ) 心の『N・K・G』への支援 ※話し合い活動を通じた自治能力の育成
- ウ 道徳教育の充実
 - (ア) 規範意識(情報モラルを含む)の醸成と道徳の時間の充実
- エ 人権教育の充実
 - (ア) 人権に配慮した言語環境づくり、教室環境づくり、学習環境づくり
 - (イ)「いじめゼロ運動」の推進 ※いじめの未然防止、いじめの早期発見と対応
- オ 自治能力の育成
 - (ア) 児童自身による学級目標と目標達成のためのルール作成・実践

(イ) みんながリーダーの学級集団づくり

- a インクルーシブ教育の実践とリーダーシップとフォロワーシップの実践
- b リーダーをまとめるリーダーの育成
- c 通常学級における特別支援教育 ※個別指導計画の継続活用
- d 子弟同業（教師がお手本を示す）の心得

(ウ) 認めて伸ばす児童指導 ※自己指導能力の育成

- a 小さな良い行為を見つける積極的な善行表彰（桃梨賞）
- b 苦手なことにも取り組ませる指導

カ 『A・S・N』プロジェクトの推進

(ア) 児童会や高学年を中心に先輩としての自覚を持ち行動できる児童の育成

- a 児童の主体性を生かした集会活動や委員会活動
- b リーダーをまとめるリーダーの育成

キ 小中一貫教育の推進

(ア) 中学校と連携した英語や算数など系統性のある学習指導と児童指導の展開

(5) 学校研究課題

すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの推進
～持続可能な社会の創り手の育成を目指して～